



平成 28 年 7 月 11 日

各 位

会 社 名 **グンゼ株式会社**
代 表 者 名 代表取締役社長 児玉 和
(コード：3002、東証第 1 部)
本 社 所 在 地 大阪市北区梅田 2 丁目 5 番 25 号
問 合 せ 先 広報 I R 室長 小倉 誠
(TEL. 06-6348-1314)

平成 29 年 3 月期第 1 四半期 営業外費用（デリバティブ評価損） および特別損失（投資有価証券評価損）の計上に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の第 1 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）において、下記のとおり営業外費用（デリバティブ評価損）および特別損失（投資有価証券評価損）を計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 1 四半期におけるデリバティブ評価損の計上について

急激な円高進行に伴い、将来の為替変動リスクをヘッジする目的で行っております通貨オプション取引に起因するデリバティブ評価損 4,660 百万円（前期末評価損の洗替益 2,267 百万円、当期末評価損 6,927 百万円）を営業外費用に計上する見込みとなりました。

なお、デリバティブ評価損益については、平成 29 年 3 月期の各四半期末の状況によって変動いたします。

2. 平成 29 年 3 月期第 1 四半期における投資有価証券評価損の計上について

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落したものについて、減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する見込みとなりました。

	連結
平成 29 年 3 月期第 1 四半期会計期間（平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額	3,894 百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、3 月 31 日です。

なお、四半期における投資有価証券の減損処理にあたっては、四半期洗替え法を採用しているため、平成 29 年 3 月期の各四半期末の時価により投資有価証券評価損の計上額が変動する場合、もしくは投資有価証券評価損を計上しない場合があります。

3. 今後の見通しについて

平成 29 年 3 月期の業績予想については、今後修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

以 上